

令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業 ユニバーサル公演事業」

出演希望調書 No.1 (共通)

UNI_14

制作団体名	一般社団法人音楽芸術協会
公演団体名	和太鼓グループ彩-sai-

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇, その他()
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル, ノンバーバルその他()
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊, その他()
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, <input checked="" type="radio"/> 邦楽, 邦舞, 演芸, その他()
【美術】	洋画, 日本画, 版画, 彫刻, 書, 写真, その他()
【メディア芸術】	映像, メディアアート等, その他()

取り組み (該当する取り組みに○を付してください。)

該当	取り組み
	① 障がいを持ったアーティストが活躍する取り組み
<input checked="" type="radio"/>	② 字幕や音声ガイド等を設置するだけでなく、障がいを持った子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み

応募する取り組みが①である場合、アーティストが抱える障がいの種類

応募する区分 (該当する区分に○を付してください。)

該当	区分
○	《D区分》公演をメインプログラムとする企画
	《E区分》ワークショップを中心とする企画 ※ ワークショップの一環として実演を披露するものを含みます。

実施可能期間等

(別添)カレンダーを御参照ください。

実施可能地域(実施可能な地域又は都道府県名の前に○を付してください。)

地域	都道府県
○ 限定なし	
北海道	北海道
東北	青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島
南関東	埼玉, 千葉, 東京, 神奈川
北関東・甲信	茨城, 栃木, 群馬, 山梨, 長野
北陸	新潟, 富山, 石川, 福井
東海	岐阜, 静岡, 愛知, 三重
近畿	滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山
中国	鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口
四国	徳島, 香川, 愛媛, 高知
九州	福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄

団体の概要

【制作団体について】

ふりがな	いっばんしゃだんほうじん おんがくげいじゅつきょうかい		
制作団体名	一般社団法人音楽芸術協会		
代表者職・氏名	代表理事 田畑伸典		
制作団体所在地	〒102-0084 東京都千代田区二番町 5-2 麴町駅プラザ 901		
制作団体 設立年月	平成 28 年 5 月	/	
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 田畑伸典 理事 石原信輔 理事 安達晶夫 理事 高久幸子	会員の過半数の出席により、承認された芸術家および舞台関係者。	
事務体制の担当	<input checked="" type="radio"/> 専任 ・ 他の業務と兼任	W eb サイト等 URL	https://maa.or.jp
本事業担当者	酒井智彬	本件連絡先	電話番号 03-6260-9896 メールアドレス info@maa.or.jp
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	経理責任者名	田畑伸典

【公演団体について】

ふりがな	わだいこぐるーぷさい
公演団体名	和太鼓グループ彩ーsaiー
代表者職・氏名	代表 齋英俊
W eb サイト等 URL	https://wadaiko-sai.com/

平成 31 年 岩手県立盛岡青松支援学校
令和 4 年 6 月 茨城県立境特別支援学校(巡回公演事業)

特別支援学校等
における活動実
績や障がいを持
ったアーティスト
の活動を広げる
公演等の活動実
績

令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業 ユニバーサル公演事業」 出演希望調書 No.2

《D 区分》公演をメインプログラムとする企画用

【制作団体名：一般社団法人音楽芸術協会】

企画名	楽しいが響きわたる！和楽器の総合芸術鑑賞会	
主な対象学年	小中学校全学年・特別支援学校(小・中・高等部)	
児童・生徒の鑑賞・体験可能人数の目安	ワークショップ	120名(一学年)程度まで。
	本公演	1500名程度まで。 会場の大きさによる。
企画の動画等の資料	URL https://youtu.be/8oxEslBOia8	PW なし

公演について

主な演目 原作／作曲 脚本 演出／振付等	1) 大海祭 [一彩／作曲] 2) 祭宴 [齋英俊／作曲] 3) 《楽器解説》 4) チャップパ [葛西啓之／作曲] 5) 物の怪 [齋英俊／作曲] 6) 大太鼓ソロ [鈴木海／作曲] 7) 小次郎 [齋英俊／作曲] 【休憩・換気】 8) 晴れ囃子 [酒井智彬／作曲] 9) ADVENTURE [一彩／作曲] 10) 《和太鼓体験》 11) 《講演／質問コーナー》 12) KAINA [葛西啓之／作曲] encore) まつりだ、まつりだ、おまつりだ～!! [齋英俊／作曲] ※事前ワークショップで和太鼓体験した皆様にご登壇いただき、 和太鼓グループ彩メンバーと共演することも可能です。 (事前応相談)		
	公演時間(約 100 分)※調整可能		

著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
-----	---	---------	--------------------	------------------------------

演目概要	<p>和太鼓をはじめとする多様な和楽器・日本各地に伝わる様々な伝統的な奏法からなる和太鼓グループ彩の楽曲を鑑賞いただきます。 ※別紙参照</p> <p>「楽曲演奏」では、伝統的な楽器を用いた音楽の多様性・楽しさ・奥深さをお届けし、自国の伝統文化を積極的に学びたい・知りたい、と思える「きっかけを作り」に貢献いたします。</p> <p>「和太鼓体験」では、実際に和太鼓に触れ、音色や音の響きを楽しい実体験から学んでいただきます。リズムの伝統的な口伝法”口唱歌”にも挑戦いただき、会場全員で音楽活動の楽しさを感じることができる機会を提供いたします。</p> <p>「楽器解説」では、和楽器の種類や歴史を解説し、その文化的・歴史的背景を知っていただきます。伝統芸能に対する理解を促すことができるよう、対象学年に応じて分かりやすく、お届けいたします。</p> <p>「講演・質問コーナー」では、様々な経歴を持つ演者(別添参照)が、自身の経験について語るとともに、子どもたちと演者のコミュニケーションを通して、“夢を持つこと” “チャレンジをすることの大切さ”をお伝えさせていただきます。</p>
------	---

公演従事予定者の編成 (1公演あたり)	6名(変更箇所) 舞台監督1名 児童・生徒様の障害の状態や特性に応じて、手話通訳者1名					
公演に当たり必要な会場条件	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台の設置場所 (教室 ・ 体育館) ・舞台に必要な広さ 幅 4M 以上 奥行き 3M 以上 ・電源容量(主幹ブレーカー容量) 100A ・暗転の要否(要 ・ 不要) ・その他 					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 ・ 無) 会場設営の所要時間(3 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～ 12時	13時～15時	10～15分 (調整可能)	15時～ 16時	16時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
派遣について	移動方法の制約等	なし				
	運搬規模	4トントラック1台、バン1台				

ワークショップについて

ワークショップ	<p>(内容)</p> <p>和太鼓の体験活動を行います。</p> <p>実施時期:公演の1ヶ月前～1週間前</p> <p>回数:1回</p> <p>体験時間:約60分(調整可能)</p> <p>【内容】</p> <p>1) 講義(和太鼓の楽器・歴史紹介)</p> <p>2) 体験活動(太鼓の構え方・打ち方/口唱歌を通したリズム遊び/簡単な曲の実践)</p> <p>3) 発表会(いくつかのチームに分かれ、この日の成果発表を行います。)</p> <p>*ワークショップにご参加いただいた児童・生徒様の中から、当日のアンコールにて共演することも可能です。(※事前応相談)</p>
	<p>(体制)</p> <p>主指導者1名(小学校・中学校・高等学校の教諭一種免許状を取得)</p> <p>補助者3名</p> <p>児童・生徒様の障がいの状態や特性に応じて、手話通訳者1名</p>
	<p>(目的とする効果)</p> <p>和太鼓の鼓面(動物の皮)や太鼓の縁(木)を打った時の音の違いなど、それぞれの音の響きを体験から学んでいただきます。</p> <p>最後には、発表会を行うことで、他生徒と音を重ねること・人の出す音聞くなど活動から音楽の“楽しさ”を感じていただきます。さらに伝統的な口伝法である”口唱歌”を用いたリズム遊びや”手拍子”を使い、伝統的な音楽を特徴付けているリズムを理解していただきます。</p> <p>この体験活動を通し、音の違いや、楽器のアンサンブルから生まれる音楽の多様性を感じることができる感性を刺激します。これにより、公演では、楽器の特徴を理解しながら、曲や演奏のよさをより一層、見出しながら鑑賞いただくことができます。</p>

企画全体について

企画のねらい	<p>平成29年に改訂された新学習指導要領では、「伝統や文化に関する教育の充実」が求められています。さらに今回の改訂にあたり、中央教育審議会答申において、「我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを一層味わえることにしていくこと」が音楽科の成果・課題として挙げられ、伝統芸能に関わる教育の充実が必要とされています。その上で、本企画は、児童・生徒様に伝統芸能や自国の文化に関する優れた舞台芸術を鑑賞する機会を与え、伝統的な和楽器に触れる重要なプログラムとなります。</p> <p>本企画から、児童・生徒様に、自国の伝統や文化に対して、積極的に学びたい・知りたいと思っていただくこと、そして親しみを持っていただきたいと考えています。自国の伝統や文化に興味・関心・愛着を持つことは、国際社会で生きる教養のある日本人として必要な”自己及び日本人としてのアイデンティティを確立すること”に繋がります。</p> <p>上記を達成するために、伝統的な文化や奏法にもとづいた和楽器の多様な演奏や楽しい音楽活動を構成・演出しています。</p> <p>公演やワークショップの内容は、児童・生徒様の「知識及び技能の習得」・「思考力、判断力、表現力等の育成」・「学びに向かう力、人間性等の涵養」を目標として行います。</p> <p>さらに、教諭免許所持メンバー監修のもと、音楽科学習指導要領の教科の内容「A 表現」や「B 鑑賞」や[共通事項]を意識し、精査された鑑賞活動・体験活動を行います。</p>
--------	--

<p>特別支援学校等での実施における工夫等</p>	<p>事前に打ち合わせをさせていただき、児童・生徒様の実態把握を行います。 小学校・中学校・高等学校の教諭一種免許状を取得している演者が在籍していますので、障がいの状態や特性及び、心身の発達の段階等に合わせて、公演やワークショップの内容をご提案することが可能です。 また、和太鼓はどなたでも簡単に音が鳴る楽器です。視覚障害の児童・生徒様には、聴覚、触覚及び保有する視覚などを十分に活用しながら、体験・鑑賞活動を行っていただきます。体験では、補助者がつき、的確に和太鼓の面を打てるよう指導いたします。 さらに、和太鼓は、体で振動を感じることでできる楽器ですので、聴覚障害の児童・生徒様にも音楽を楽しんでいただける内容となっております。そして、聴覚障害の状態に合わせて、手話通訳者を手配し、意思の相互伝達が行われるよう努めます。 肢体不自由である児童・生徒様のワークショップの際には、身体の動きの状態や認知の特性を事前に打ち合わせさせていただき、内容を調整いたします。</p>
<p>取り組み②で応募する場合、特に重点的に課題解決に取り組んできた課題(障がい)</p>	<p>これまでも学校現場や医療現場において、障がいの状態や特性及び、心身の発達の段階等に合わせて、体験活動を実施してまいりました。和太鼓は、どなたでも音が鳴る楽器ですので、体験者の障がいの状態や特性に合わせて、プログラム内容を作成してまいりました。その中で、和太鼓特有の「振動」に着目し、プログラムを作成しておりました。音そのものを聴くことが難しい聴覚障害の子どもにおいては、「振動」に着目することで、リズムについて、学習することができました。さらに、肢体不自由の子どもにおいても、補助者のサポートがあり、実際に自分自身の音や「振動」を身体全体で体験いただきました。 このように、体験者の障がいの状態や特性に合わせて、体験プログラムを作成することで、障がいを持つ多くの子どもたちに自国の音楽や楽器に親しむ機会を作ってきました。</p>
<p>協力・連携機関及び団体内における専門員の配置等</p>	<p>下記、人員の手配をしております。 小学校・中学校・高等学校の教諭一種免許状を取得している演者 1 名 児童・生徒様の障がいの状態や特性に応じて、手話通訳者 1 名</p>

【令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－ユニバーサル公演事業－実施条件等確認書①】

ID	UNI_14	分野 (大項目)	伝統芸能	分野 (中項目)	邦楽	区分	D区分
公演団体名	和太鼓グループ彩-sai-			制作団体名	一般社団法人音楽芸術協会		

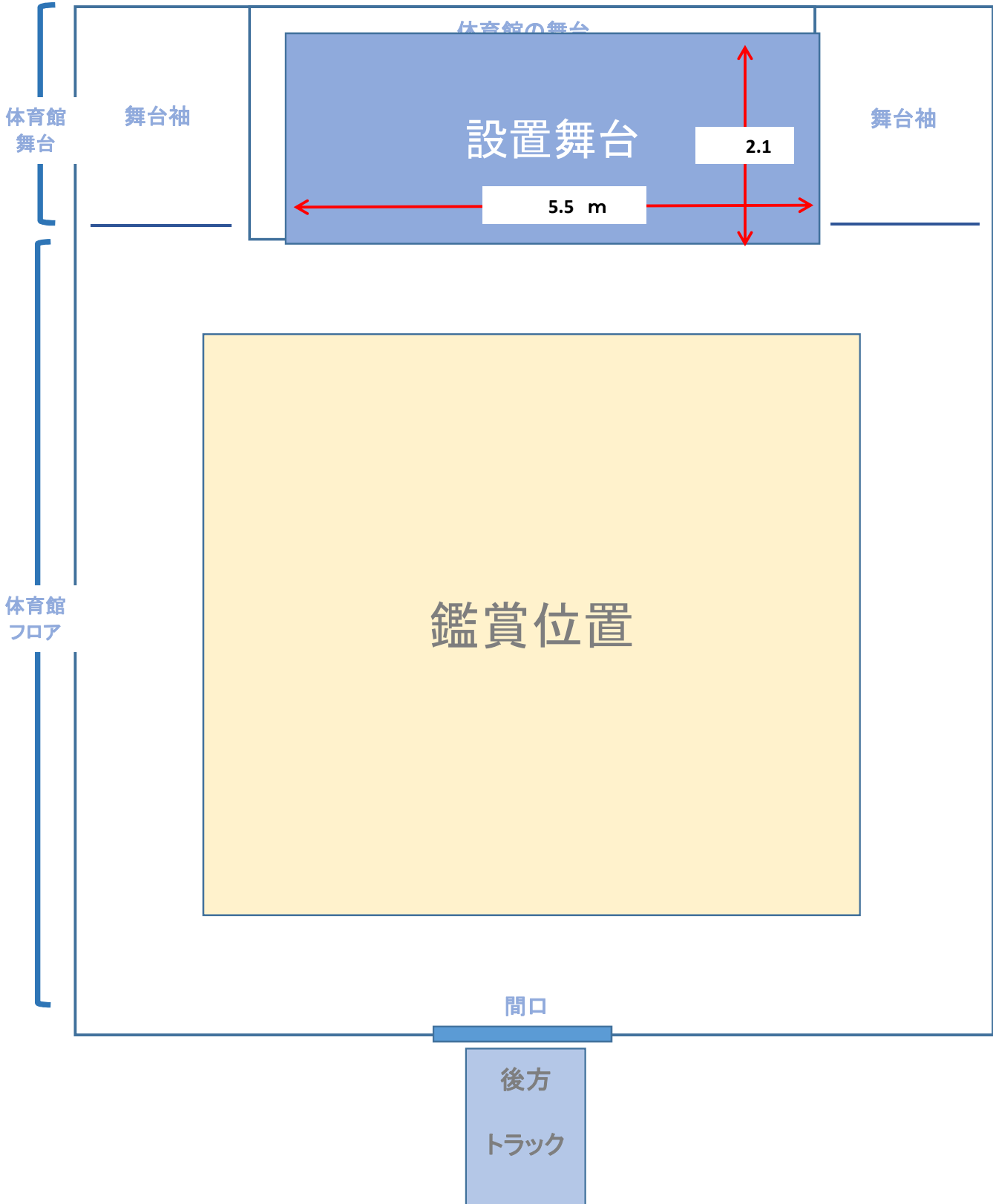
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等						応相談		
控室について	必要数 *	1室	条件	特に指定なし			可		
搬入について	来校する車両の大きさや台数 *		2tトラック	1台	バン	1台	可		
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細						/		
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ		特に指定なし				可		
	搬入車両の横づけの要否 *		不要				可		
	横づけができない場合の搬入可能距離 *		問わない				可		
	搬入経路の最低条件						可		
	理由						/		
	設置階の制限 *		問わない,2階以上不可,エレベーターの設置等が				可		
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5m	高さ	1.8m	可		
WSについて	参加可能人数	120名(一学年)程度まで。					可		
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *				可		
	所要時間の目安 単位:分	1コマ45分					可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				/		
	鑑賞可能人数		1500名程度まで。/会場の大きさによる。				可		
	舞台設置場所 *		ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能						
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	5.5m	奥行	2.1m	高さ	特に指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *		要				可	
		舞台袖スペースの条件 *		特にしていなし				可	
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		可	
	遮光(暗幕等)の要否 *		不要		理由			可	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		可	
		ピアノの事前調律 *		不要				可	
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			可	
	公演に必要な電源容量				※主幹電源の必要容量			可	
その他特記事項						応相談			

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.5m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



UNL14

D区分

和太鼓グループ彩—sai—

前日仕込みの有無

なし

10月3日	月	
10月4日	火	
10月5日	水	
10月6日	木	
10月7日	金	
10月8日	土	
10月9日	日	
10月10日	月	
10月11日	火	
10月12日	水	
10月13日	木	○
10月14日	金	
10月15日	土	
10月16日	日	
10月17日	月	
10月18日	火	○
10月19日	水	○
10月20日	木	○
10月21日	金	○
10月22日	土	
10月23日	日	
10月24日	月	○
10月25日	火	○
10月26日	水	○
10月27日	木	
10月28日	金	
10月29日	土	
10月30日	日	
10月31日	月	

11月1日	火	
11月2日	水	
11月3日	木	
11月4日	金	
11月5日	土	
11月6日	日	
11月7日	月	
11月8日	火	○
11月9日	水	○
11月10日	木	○
11月11日	金	○
11月12日	土	
11月13日	日	
11月14日	月	
11月15日	火	○
11月16日	水	○
11月17日	木	○
11月18日	金	○
11月19日	土	
11月20日	日	
11月21日	月	○
11月22日	火	
11月23日	水	
11月24日	木	
11月25日	金	
11月26日	土	
11月27日	日	
11月28日	月	○
11月29日	火	
11月30日	水	

12月1日	木	
12月2日	金	
12月3日	土	
12月4日	日	
12月5日	月	
12月6日	火	○
12月7日	水	○
12月8日	木	
12月9日	金	
12月10日	土	
12月11日	日	
12月12日	月	○
12月13日	火	
12月14日	水	
12月15日	木	○
12月16日	金	○
12月17日	土	
12月18日	日	
12月19日	月	○
12月20日	火	○
12月21日	水	○
12月22日	木	○
12月23日	金	
12月24日	土	
12月25日	日	
12月26日	月	○
12月27日	火	
12月28日	水	
12月29日	木	
12月30日	金	
12月31日	土	

1月1日	日	
1月2日	月	
1月3日	火	
1月4日	水	
1月5日	木	
1月6日	金	
1月7日	土	
1月8日	日	
1月9日	月	
1月10日	火	○
1月11日	水	○
1月12日	木	○
1月13日	金	○
1月14日	土	
1月15日	日	
1月16日	月	
1月17日	火	
1月18日	水	○
1月19日	木	○
1月20日	金	
1月21日	土	
1月22日	日	
1月23日	月	○
1月24日	火	○
1月25日	水	○
1月26日	木	○
1月27日	金	
1月28日	土	
1月29日	日	
1月30日	月	
1月31日	火	○

2月1日	水	○
2月2日	木	○
2月3日	金	○
2月4日	土	
2月5日	日	
2月6日	月	○
2月7日	火	○
2月8日	水	
2月9日	木	○
2月10日	金	○
2月11日	土	
2月12日	日	
2月13日	月	
2月14日	火	○
2月15日	水	○
2月16日	木	○
2月17日	金	○
2月18日	土	
2月19日	日	
2月20日	月	○
2月21日	火	○
2月22日	水	○
2月23日	木	○
2月24日	金	○
2月25日	土	
2月26日	日	
2月27日	月	○
2月28日	火	○